あなたの口を大きく開けよ

2013 年 3 月 5 日(火)、吉祥寺学び会 ゴットホルド・ベック

詩篇

81:1 われらの力であられる神に喜び歌え。ヤコブの神に喜び叫べ。

81:2 声高らかにほめ歌を歌え。タンバリンを打ち鳴らせ。六弦の琴に合わせて、良い音の立琴をかき鳴らせ。

81:3 われらの祭りの日の、新月と満月に、角笛を吹き鳴らせ。

81:4 それは、イスラエルのためのおきて、ヤコブの神の定めである。

81:5 神が、エジプトの地に出て行かれたとき、ヨセフの中に、それをあかしとして授けられた。私は、まだ知らなかったことばを聞いた。

81:6「わたしは、彼の肩から重荷を取り除き、彼の手を荷かごから離してやった。

81:7 あなたは苦しみのときに、呼び求め、わたしは、 あなたを助け出した。わたしは、雷の隠れ場から、あ なたに答え、メリバの水のほとりで、あなたをためした セラ

81:8 聞け。わが民よ。わたしは、あなたをたしなめよう。イスラエルよ。よくわたしの言うことを聞け。

81:9 あなたのうちに、ほかの神があってはならない。 あなたは、外国の神を拝んではならない。

81:10 わたしが、あなたの神、主である。わたしはあなたをエジプトの地から連れ上った。あなたの口を大きくあけよ。わたしが、それを満たそう。

81:11 しかしわが民は、わたしの声を聞かず、イスラエルは、わたしに従わなかった。

81:12 それでわたしは、彼らをかたくなな心のままに任せ、自分たちのおもんぱかりのままに歩かせた。

81:13 ああ、ただ、わが民がわたしに聞き従い、イスラエルが、わたしの道を歩いたのだったら。

81:14 わたしはただちに、彼らの敵を征服し、彼らの 仇に、わたしの手を向けたのに。」

81:15 主を憎む者どもは、主にへつらっているが、彼らの刑罰の時は永遠に続く。

81:16 しかし主は、最良の小麦をイスラエルに食べさせる。「わたしは岩の上にできる蜜で、あなたを満ち足らせよう。」

[1]

聖書とは、人間に与えられている最高の宝物です。どうしてであるかと言いますと、主のことばだからです。確かに主は、人間を用いたのです。どういう人々が用いられた

Open thy Mouth Wide

March 5th, 2013, Kichijouji Bible Study Gotthold Beck

Psalms

81:1 Sing joyfully to God, our strength. Raise a shout to the God of Jacob.

81:2 Sing a song and play the tambourine, the pleasant-sounding lyre along with the harp.

81:3 Blow the ram's horn when there is a New Moon, when there is a full moon, on our festival day.

81:4 because it is a statute in Israel, an ordinance by the God of Jacob,

81:5 a decree that he prescribed for Joseph when he went throughout the land of Egypt, speaking a language I did not recognize.

81:6 I removed the burden from your shoulder; your hands were freed of the burdensome basket.

81:7 In a time of need you called out and I delivered you; I answered you from the dark thundercloud; I tested you at the waters of Meribah. Interlude.

81:8 Listen, My people and I will warn you. Israel, if only you would obey me!

81:9 You must neither have a foreign god over you or worship a strange god.

81:10 I am the LORD your God, who brought you out of the land of Egypt, open your mouth that I may fill it.

81:11 Yet my people didn't obey my voice; Israel didn't submit to me.

81:12 So I allowed them to continue in their stubbornness, living by their own advice.

81:13 If only my people would obey me, if only Israel would walk in my ways!

81:14 Then I would quickly subdue their enemies. I would turn against their foes.

81:15 Those who hate the LORD will cringe before him; their punishment will be permanent.

81:16 But I will feed Israel with the finest wheat, satisfying you with honey from the rock.

[International Standard Version]

[1]

The Bible is the most wonderful treasure given to humans. This is because it consists of the words of our Lord. Certainly, the Lord used humans: to write the Scripture. What kind of men were chosen to serve Him? They were those who had ears to hear.

かと言いますと、聞く耳を持つ人々でしょう。

「主よ。語ってください。しもべは聞いております。」聞いているだけではなく、従いたい。みことばですから受け入れます。また、宣べ伝えます。だいたい40人の人々が、この態度をとったから聖書が出来たのです。そして今の読んでもらいました箇所も、確かに人間の書いたものですけど、主の呼びかけです。

10節「あなたの口を大きくあけよ。わたしが、それを満た そう。」主は、満たしたいと望んでおられます。けれど、そ のために必要なのは、開いた心を持つことなのではない でしょうか。私たちが、何によって満たされているのでしょ うか。我々を動かす力とはいったいどういうものなのでしょうか。私たちの支配者が、誰なのでしょうか。

いわゆるヒューマニズムの立場に立つ人々の考えは、決して聖書的ではない。なぜならば、彼らは人間の心の中に、なかなか良いものがあるという考えが基礎となっているからです。これらの人たちは、人間の環境が改善され、そして人間が自分で努力をするならば、必ずうまく行く。 より良いものになることができるという考え方です。

けれども神のみことばである聖書は、全く違うことを言っているのです。すなわち、人間の心は、はなはだしく悪に染まっている。その中に何一つ良いものはないと聖書は言っています。もうすでに、一番始めての書である創世記の中で、8章21節「人の心の思い計ることは、初めから悪であるからだ。」人間が罪を犯すから罪人になるのではない。罪人として生まれてくると聖書は言っています。エレミヤも同じことを書いたのです。

エレミヤ書

17:9 人の心は何よりも陰険で、それは直らない。

すなわち、心はよろずのものよりも偽るもので、はなはだ しく悪に染まっていると神のことばは言っているのです。 もちろん聖書だけではなく、イエス様の口から同じ真理が 語られました。

マルコ伝

7:21 内側から、すなわち、人の心から出て来るものは、悪い考え、不品行、盗み、殺人、

7:22 姦淫、貪欲、よこしま、欺き、好色、ねたみ、そしり、高ぶり、愚かさであり、

7:23 これらの悪はみな、内側から出て、人を汚すのです。

聖書は、内側からと言っているのです。外からではない。 そして、人ということばの代わりに人間と言ってもいいじゃ 'Lord, please speak. Your servant is listening.' I am not just listening, but I want to obey. I will accept all the words of the Lord. I will also spread these words of yours to the world. Some 40 people took this attitude, and the Bible was completed as a result. These verses we just read above were certainly recorded by some humans, but they were the calling of the Lord.

Verse 10, "Open your mouth that I may fill it". The Lord desires to fill our mouths. However, I think what we truly need is to have an open mind. With what are we filled? What kind of strength drives us forward? Who governs us?

The thoughts of people who see things from the standpoint of so-called humanism are totally different from the thoughts in the Bible. This is because their thoughts are based on the idea that there is something very good in the hearts of humans. They believe that if their circumstances are improved and they make efforts based on their own thoughts, everything will work out well and anyone can be a better person.

This is totally different from what the Bible says, which consists of the words of God: humans' hearts are extremely infected by evil. The Bible says that there is nothing good inside them. In fact, it is even mentioned in the very first book, Genesis, 8:21, that, 'Human inclinations remain evil from youth'. It is not that humans commit sins and become sinners — they are born as sinners. Jeremiah wrote the same thing.

Jeremiah

17:9 The heart is more deceitful than anything. It is incurable—who can know it?

Humans' hearts are more deceitful by nature than anything in this world, and they are extremely steeped in vice, so says the words of God. This is true not just in the Old Testament — the same thing was spoken from the mouth of Jesus.

Mark

7:21 because it's from within, from the human heart, that evil thoughts come, as well as sexual immorality, stealing, murder,

7:22 adultery, greed, wickedness, cheating, shameless lust, envy, slander, arrogance, and foolishness.

7:23 All these things come from inside and make a person unclean."

ないでしょうか。全人類と言ってもいいのではないでしょうか。未信者だけではなくと聖書は言っているのです。これこそが、人間が誰でも心の中に抱いている思いです。

The Bible makes it clear that it comes from inside, not from the outside. In the above verses, we can substitute the word 'human' with 'people', or even 'the whole human race'. The Bible says that it is not limited to non-believers. This is exactly what all humans have in their minds.

[2]

私たちを取り囲んでいる世のもの、つまり週間雑誌やテレビの番組や人々の愛のない結婚生活や、異常な経済的な状況、また未来の低下している政治の時代などを考え合わせてみると、誰でも認めざるを得ない。すなわち、聖書の指摘している事柄が本当なのです。真実であることを認めざるを得ない。

伝道者の書

9:3 人の子らの心は悪に満ち、生きている間、その心には狂気が満ち、それから後、死人のところに行く。

エゼキエルという預言者も同じようなことを書いたのであります。

エゼキエル

9:9この国は虐殺の血で満ち、町も罪悪で満ちている。

これらのことばは、まさに現在の状態に対して語られているのではないでしょうか。人間の心がいかに悪に染まっているかという事を、ちょっと新約聖書から3つの例を引いて考えてみたいと思います。使徒行伝13章をみると、一人の魔術者がいました。エルマという名を持つ男でした。パウロは、彼について言ったんです。

使徒行伝

13:10 言った。「ああ、あらゆる偽りとよこしまに満ちた者、悪魔の子、すべての正義の敵。おまえは、主のまっすぐな道を曲げることをやめないのか。

厳しいことばです。どうして、そう言ったかといいますと、 彼は意識して真理に敵対した男でした。真理のみことば の特徴は、ありのままである事、また素直であることです。 けど、このエルマという男は、これとちょうど反対に偽りの もの、またよこしまのものと言われています。

2番目の例は、当時ナザレという町に住んでいた人々です。ルカ伝4章から見てみると解かります。イエス様が、ナザレ、自分の故郷の人々に、もちろん福音を宣べ伝えました。そして、彼らが始めて示した反応は、イエス様を褒め称え、その口から出て来る恵みのことばに驚きましたと書いてあります。しかし、イエス様が、彼ら自身について、すなわち彼らの悪に満ちた心について、真実をあり

[2]

When we think of the things surrounding us in this world, namely news in weekly magazines and TV programs, the loveless marriages of so many people, anomalous economic conditions, the decline of politics in nations without futures, we can't help but admit one thing: the things pointed out in the Bible are the only truth. No one can deny that they are the truth.

Ecclesiastes

9:3In fact, the hearts of human beings are full of evil. Madness remains in their hearts while they live, and afterwards they join the dead.

The prophet Ezekiel also wrote similar things.

Ezekiel

9:9The land is filled with blood, and the city overflows with injustice.

Indeed, it seems as if these words speak of the situation of the world today. I would like to use three examples from the New Testament to show that humans' hearts are totally stained by wickedness. The first example is the sorcerer in Acts, chapter 13. His name was Elymas. Paul wrote about this man.

Acts

13:10 and said, "You are full of every form of deception and trickery, you son of the devil, you enemy of all that is right! You will never stop perverting the straight ways of the Lord, will you?

Very harsh words, aren't they? Why did he have to say such things? It was because Elymas was a man who contended the truth of God with clear intentions. Characteristic of the true words of God is that they are just as they are spoken, and that they are so straightforward. However, this man called Elymas was totally the opposite and was said to be full of deception and trickery.

The second example concerns the people living in Nazareth back in those days. It can be seen in Luke, chapter 4. Jesus visited Nazareth to preach the gospel to the people of His hometown. Their first reaction was the praise Jesus. In fact, it is recorded

のままで語られた時から、彼らの反応はいっぺんに変わってしまいました。

ルカ

4:22 みなイエスをほめ、その口から出て来る恵みのことばに驚いた。そしてまた、「この人は、ヨセフの子ではないか。」と彼らは言った。

4:28 これらのことを聞くと、会堂にいた人たちはみな、 ひどく怒り、

4:29 立ち上がってイエスを町の外に追い出し、町が立っていた丘のがけのふちまで連れて行き、そこから投げ落とそうとした。

ナザレの人々は、ひどく怒り、つまり怒りに満たされ、イエス様を追い出して、それだけではなく、殺そうと思ったのです。彼らは、自分自身では、敬虔な者であると思い込んでしまいました。安息日ごとに必ず会堂に集い、神のみことばを聞きましたけど、自分自身の心を真っ直ぐに見つめて悔い改めようとする気持ちが、全くなかったのです。

悔い改めたくなければ、いくら信じると言っても嘘です。悔い改めのない信仰は、全く役に立たないものです。その結果、彼らの心を満たしていたものは、主にある喜びではなく、怒りでした。3番目の例は、使徒行伝5章に出て来る夫婦なんです。アナニヤとサッピラという夫婦であります。

使徒行伝

5:3 そこで、ペテロがこう言った。「アナニヤ。どうして あなたはサタンに心を奪われ、聖霊を欺いて、地所の 代金の一部を自分のために残しておいたのか。

ここで、「サタンに心を奪われたか」と書かれていますが、 原語によれば、ここは「サタンに心を満たされたのか」と いう意味になっています。アナニヤとサッピラは、初代教 会に属する者であり、自分の財産の大部分を捨てて、主 に仕えようという気持ちを持っていました。彼らは、うわべ では自分の持っているものを全部を捧げて、主に仕えて るいるのだという態度を取りました。

事実はそうではなかったんです。それゆえ、彼らの心には、サタンがつけこむすきがあったんです。彼らの心を満たしていたものは、イエス様の真実ではなく、悪魔の偽善でした。それゆえ主なる神の裁きが、直ちに彼らの上に下されました。

that people were so impressed by the words of blessing coming out of Jesus' mouth. However, the moment Jesus started to talk about them, that is to say, when Jesus candidly pointed out their wicked minds that were filled with vice, their attitudes changed abruptly.

Luke

4:22 All the people began to speak well of him and to wonder at the gracious words that flowed from his mouth. They said, "This is Joseph's son, isn't it?"

4:28 All the people in the synagogue became furious when they heard this.

4:29 They got up, forced Jesus out of the city, and led him to the edge of the hill on which their city was built, intending to throw him off.

The people of Nazareth became so furious, and filled with anger, they drove Jesus out of the city and even tried to slay Him. They believed that they were religious and sincere people. They never failed to gather in the churches on every sabbath to listen to the words of God, but they totally lacked the minds to look straight into their own hearts and repent.

You can express your belief in your own words, but if you don't sincerely want to repent, all these words are empty lies. Belief without repentance is absolutely meaningless. As a consequence, their hearts were filled with fury, instead of joy from being in the presence of the Lord. The third example is the couple that appears in Acts, chapter 5: Ananias and Sapphira.

Acts

5:3 Peter asked, "Ananias, why has Satan filled your heart so that you should lie to the Holy Spirit and keep back some of the money you got for the land?

In the Japanese Bible we use, it is said, 'your soul was stolen by Satan', but in the original language, it is written that 'Satan filled their hearts'. Ananias and Sapphira belonged to the early church, and they were willing to abandon most of their property to serve the Lord. They may have taken the attitude of offering up all their possessions and serving the Lord, but actually, they were just pretending.

They were not truly sincere in their belief. And thus, they gave Satan the chance to slip into their minds. It was not the truth of Jesus but Satan's hypocrisy that filled their hearts. And thus, they soon had to face the justice of the Lord God.

私たちもまた、主のことばによって、常に吟味されていなければなりません。我々の言葉と行ないとの間に隔たりがあるのでしょうか。私たちはいったい何によって満たされているのでしょうか。聖書を読むと、単なる習慣か義務的な気持ちから読むのか、あるいはサムエルのような態度を取るか、すなわちサムエルは、「しもべは聞いております。(聞く耳がある)主よ。お語りください。」こういう態度をとって読むと、大いに祝福されます。

主の御前にへりくだり、自分自身は、粉々に砕かれてもかまわないという心の用意があるのでしょうか。

We too always have to be examined by the words of the Lord. Is there any discrepancy between our words and our deeds? What are we filled with? When you read the Bible, do you read it like a ritual, or because you feel it is an obligation? Or do you read it with a sincere attitude just like Samuel when he said, 'Your servant is listening (he had ears to hear). Lord, please speak'? You will obtain a wonderful blessing when you read the Bible with an attitude like this.

Are we prepared to humble down before the Lord and are we willing to be broken into pieces?

[3]

これまで私たちは、主なる神が人間に対して、どのような判断を持っているかについて、ちょっと見てきました。この事柄を要約することばは、ローマ書なのではないかと思います。全部、詩篇から取ったことばなんですけど、パウロは集めて次のように書いたのです。

ローマ書

- 3:10 義人はいない。ひとりもいない。
- 3:11 悟りのある人はいない。神を求める人はいない。
- 3:12 すべての人が迷い出て、みな、ともに無益な者となった。善を行なう人はいない。ひとりもいない。
- 3:13 彼らののどは、開いた墓であり、彼らはその舌で 欺く。彼らのくちびるの下には、まむしの毒があり、
- 3:14 彼らの口は、のろいと苦さで満ちている。
- 3:15 彼らの足は血を流すのに速く、
- 3:16 彼らの道には破壊と悲惨がある。
- 3:17 また、彼らは平和の道を知らない。
- 3:18 彼らの目の前には、神に対する恐れがない。

私たちは、本当の意味で主を恐れているのでしょうか。主を恐れないと、祝福がないし、家族、知り合いの人々は導かれない。主の祝福がなければ、平安もないし、喜びもあり得ません。主に恐れを持つ必要性について、聖書はたくさん言っているのです。一つの有名な箇所は、詩篇111篇10節です。

詩篇

111:10 主を恐れることは、知恵の初め。

今の世界で求められているのは、頭の良い人たちでしょうね。優秀な人々です。能力のある人々です。金を持つ人々です。主なる神の求めているのは、全く違う種類の人々です。すなわち、心砕かれ、みことばにおののき、主を恐れている人々です。

[3]

So far, we have briefly seen how the Lord God judges us humans. God's judgment of humans is summarized well in the epistle to the Romans. Actually, Paul collected these words from the Psalms, and sent them in his epistle.

Romans

- 3:10 As it is written, "Not even one person is righteous.
- 3:11 No one understands. No one searches for God.
- 3:12 All have turned away. They have become completely worthless. No one shows kindness, not even one person!
- 3:13 Their throats are open graves. With their tongues they deceive. The venom of poisonous snakes is under their lips.
- 3:14 Their mouths are full of cursing and bitterness.
- 3:15 They run swiftly to shed blood.
- 3:16 Ruin and misery characterize their lives.
- 3:17 They have not learned the path to peace.
- 3:18 They don't fear God.

Do we fear the Lord in a true sense? If we don't fear the Lord, we will receive no blessing and our family or other acquaintances will not be led to Him. Without the blessing of the Lord, there will be no peace of mind, no joy. There are so many verses in the Scripture that emphasize the importance of fearing the Lord. Psalm 111, verse 10 is famous and is one of such verses.

Psalms

111:10 The fear of the Lord is the beginning of wisdom.

What kinds of people are well-accepted in this world today? It is the excellent people, intelligent people, competent people and people who have a lot of

主を恐れなければ、もうおしまい。祝福はない。砕かれている心を持たない人は、祝福されない。みことばにおののかない人は、決して祝福されない。主を恐れない人は、何があっても祝福され得ないのです。

主を恐れたアブラハムという男は、告白しました。すばら しい証しです。すごい告白です。短いけど意味のあるもの です。「私は、ちり、灰にすぎません。」ちり、灰を集めても 金持ちにならないよ。捨てるべきです。全く役に立たない ものです。

アブラハムは、それを言っただけじゃなくて、心からそう思ったんです。捨てられても当然です。けども、この態度をとる者は、決して捨てられません。ちりと灰は、全く価値のないものであり、本当に捨てられるべきものです。捨てられてもいいものですという態度をとる人は、必ず祝福されます。

money. The Lord God is looking for totally different kinds of people: those who are contrite and have broken hearts, those who respect the words of the God, those who fear the Lord.

If you don't fear the Lord, you have no hope. You will receive no blessing. Those who don't have a broken heart will never be blessed. Those who don't respect His words will have no blessing at all. Those who don't fear the Lord have no chance to be blessed no matter what they do.

The man called Abraham feared the Lord and testified. It was a wonderful testimony and such a brilliant confession. Although it is short, it is so meaningful. 'I am only dust and ashes'. No matter how much dust and ashes you collect, they will never make you rich. They have to be cast away. They are totally valueless.

Not only did Abraham say these words, but he believed them from the bottom of his heart. He knew only deserved to be abandoned (just like *dust and ashes*). However, when men take this attitude, they will never be abandoned. Dust and ashes have no value at all, and they ought to be thrown away. But, when people understand that they only deserve to be thrown away and express it in their attitude, they will never fail to be blessed.

アサフという詩篇の作者も同じようなことを言ったのです。

詩篇

73:22 私は、愚かで、わきまえもなく、あなたの前で獣のようでした。

と彼は告白したのであります。結局、私はどうしようもない者です。主を恐れる兄弟姉妹は、へりくだって、心砕かれた人々です。そしてまた、主の光によって、自分のみじめさと空しさを知るようになった兄弟姉妹です。今日、主は、いったいどういう人々を、必死になって探し求めておられるのでしょうか。イザヤは応えたのです。主の御告げを宣べ伝えたのです。

イザヤ書

66:2 わたしが目を留める者は、へりくだって心砕かれ、 わたしのことばにおののく者だ。

主の救いにあずかるようになった人々に、パウロは書いたのです。

ガラテヤ書

5:19 肉の行ないは明白であって、次のようなもので

Asaph, one of the authors of the Psalms said something similar.

Psalms

73:22 Then, I was too stupid and didn't realize I was acting like a wild animal with you.

This was his confession. 'After all, I am miserable and hopeless man'. The brothers and sisters who fear the Lord are those who know to humble and have broken hearts. And they are the brothers and sisters who came to realize how valueless and empty they are, by being illuminated by the light of the Lord. Today, what kind of people is the Lord desperately looking for? Isaiah answered this question. He transferred the words from the Lord to humans.

Isaiah

66:2 But this is the one to whom I will look favorably: to the one who is humble and contrite in spirit, and who trembles at my message.

To those who obtained the salvation of the Lord, Paul wrote:

Galatians

す。不品行、汚れ、好色、

5:20 偶像礼拝、魔術、敵意、争い、そねみ、憤り、党 派心、分裂、分派、

5:21 ねたみ、酩酊、遊興、そういった類のものです。

とパウロは書いたのです。いうまでもなく、信じる者に書いたことばです。なぜ、まだ滅びに向かう多くの人々が、 一度もイエス様のことを聞かないまま歩み続けているのでしょうか。これはみな、我々信じるものの罪のゆえです。

私たちが自分のことを、大切にするからなのではないでしょうか。なぜ、イエス様のからだである我々の兄弟姉妹は、弱く力なく、悪の霊に戦うのに弱いのでしょうか。それも私たちが、自分のことを大切にするからなのではないでしょうか。

なぜ、多くの人は生ぬるく、不熱心で自己満足しているのでしょうか。それもやっぱり、自分のことばかりを求めているのではないでしょうか。私たちは、主の器となるために、主に仕えるために、主に救われたのではないく救われたのではないか?>。したがって、しばしば、我々の内の古き人が、我々を支配し、指導してきたのではないでしょうか。

我々の心の中に浮かぶ願いは、イエス様の目的にかなっているのでしょうか。私たちは、主を見上げ、イエス様にご自分の形を内に形造っていただく我々の思いは、清められているのでしょうか。パウロは、御霊によって私たちが神と共に働く者であるということが出来たのですが、けど私たちは本当に御用にかなう者なのでしょうか。

イエス様が、ご自分の思うとおりに我々を用いることができるのでしょうか。それとも我々は、自分の思うことばかりをやっているのでしょうか。コリント第1の手紙は、パウロのコリントにいる兄弟姉妹に書いたことばですけども、大切なことばです。

コリント第1の手紙

6:19 あなたがたのからだは、あなたがたのうちに住まれる、神から受けた聖霊の宮であり、あなたがたは、もはや自分自身のものではないことを、知らないのですか。

6:20 あなたがたは、代価を払って買い取られたのです。ですから自分のからだをもって、神の栄光を現わしなさい。

とあります。イエス様が我々を値を払って買い取ってくださいました。ヤコブは、救われた主の恵みを受けた人々に、大変なことばを書いたのです。パウロはだいたい「愛する兄弟」ということばを使ったんです。ヤコブは大変なこ

5:19 Now the actions of the flesh are obvious: sexual immorality, impurity, promiscuity, 5:20 idolatry, witchcraft, hatred, rivalry, jealously, outbursts of anger, quarrels, conflicts, factions, 5:21 envy, murder, drunkenness, wild partying, and things like that.

Paul wrote these things. Needless to say, these words were sent to the believers. Why are there still so many people walking the path of destruction without even hearing about Jesus? It is all because of our sins, the believers.

Isn't it because we put too much importance on ourselves? Why are our brothers and sisters, although they are the parts of Jesus' body, all so weak, powerless and too spineless to tackle the evil spirits? Isn't it because we hold ourselves in high esteem?

Why are so many people so weak-hearted, lazy and self-pleased? Isn't it because they only seek for their own satisfaction? We don't recognize that we were saved by the Lord to become His vessel, to serve the Lord. Because of this, very often, the old men inside us control and lead us.

Do the thoughts that come into our minds meet the purposes of Jesus? Do we look up to the Lord? Is the desire to form the image of Jesus inside us sincerely and purely? Paul could say that he worked together with God with the help of the Holy Spirits. How about us? Do we truly deserve to serve His intentions?

Can Jesus use us exactly the way He wants? Or are we acting just the way we want? Let's look at some very important words that Paul wrote in his letter to his brothers and sisters in Corinth.

1 Corinthians

6:19 You know that your body is a sanctuary of the Holy Spirit who is in you, whom you have received from God, don't you? You do not belong to yourselves,

6:20 because you were bought for a price. Therefore, glorify God with your bodies.

Jesus paid our debts and redeemed us. To those who had accepted the salvation and blessing of the Lord, James wrote very harsh words. Most of the time, Paul started his letters with "My beloved brethren". In contrast, James used these very awful words: 'You adulterers!'. They were, needless to say, believers who eagerly wanted to devote their lives to Jesus, but it was not what they actually did in reality.

とばを使った。「貞操のない人たち」彼らはもちろんイエス様を信じ、イエス様のために生きたいと思った人々ですけども、現実は違いました。

ヤコブ

4:4 貞操のない人たち。世を愛することは神に敵することであることがわからないのですか。世の友となりたいと思ったら、その人は自分を神の敵としているのです。

知らないうちに、神の敵になる可能性が充分あるということです。

主の祝福を得る道とは、いったいどういうものでしょうかね。初めに自分の汚れた様を見て、自らの物足りない様を知り、飢え乾くことが必要です。

何と多くの人々は、自分にではなく、他の人々に不満を 投げかけています。批判したり、裁いたりします。他の兄 弟姉妹にどんなに不満を持っても、喜んでいるのは悪魔 だけです。他の兄弟姉妹を不満に思うのではなく、まず 自分自身を物足りなく思わなければならないのではない でしょうか。

我々信じる者として与えられている使命とは、いったい何でしょうか。神の宮であることです。私たちは、自分のものではなく、主のものです。ヨハネは、黙示録の中で、次のように書いたのです。これを読んで終わります。

黙示録

2:4 あなたには非難すべきことがある。(これは一番 立派な教会だったんです。エペソにある兄弟姉妹です。)あなたは初めの愛から離れてしまった。
2:5 それで、あなたは、どこから落ちたかを思い出し、悔い改めて、初めの行ないをしなさい。もしそうでなく悔い改めることをしないならば、わたしは、あなたのところに行って、あなたの燭台をその置かれた所から取りはずしてしまおう。

滅ぶようになるのではないけど、用いられなくなるということです。

おわり

James

4:4 You adulterers! Don't you know that friendship with the world means hostility with God? So whoever wants to be a friend of this world is an enemy of God.

It is highly possible that we too can unknowingly become the enemies of God.

How do we get to the path of obtaining the salvation of the Lord? You first need to realize that you are covered with filth, recognize that you are lacking so many important things, so unsatisfied, then feel hunger and thirst.

Many people complain about others instead of themselves. They criticize and judge other people. When we feel unhappy about other brothers and sisters, we are only pleasing the devil. Before we let out our complaints about other brothers and sisters, shouldn't we think of what we are lacking?

What is the mission given to us, the believers? It is to be the sanctuary of God. We do not belong to ourselves, but we belong to the Lord. John wrote an important thing in the Revelation. I will finish the sermon with these verses.

Revelation

2:4 However, I have this against you...

This was actually said to the brothers and sisters in Ephesus. It was one of the largest churches.

2:4 ...You have abandoned the love you had at first

2:5 Therefore, remember how far you have fallen. Repent and go back to what you were doing at first. If you don't, I will come to you and remove your lamp stand from its place—unless you repent.

They won't perish. But, they won't be used by the Lord any longer.

End